

平成 14年 3月期

中間決算短信(連結)



平成 13年 11月 22日

会社名 株式会社 ホッコク

登録銘柄

コード番号 2906

本社所在都道府県

問合せ先 責任者役職名 専務取締役管理本部長

東京都

氏名 橘田 英雄

TEL (03) 5695 - 2005

中間決算取締役会開催日 平成 13年 11月 22日

親会社名 (コード番号: )

親会社における当社の株式保有比率: - %

米国会計基準採用の有無 無

## 1. 13年 9月中間期の連結業績(平成 13年 4月 1日 ~ 平成 13年 9月 30日)

(1)連結経営成績 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
13年 9月中間期	2,335	3.6	112	18.2	112	11.8
12年 9月中間期	2,422	-	94	-	100	-
13年 3月期	4,852		191		205	

	中間(当期)純利益(損失)		1株当たり中間(当期)純利益(損失)		潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
13年 9月中間期	86	-	7.49		-	-
12年 9月中間期	3	-	0.28		-	-
13年 3月期	29		2.57		-	-

(注) 持分法投資損益 13年 9月中間期 - 百万円 12年 9月中間期 - 百万円 13年 3月期 - 百万円  
 期中平均株式数(連結) 13年 9月中間期 11,559,309 株 12年 9月中間期 11,559,769 株 13年 3月期 11,559,539 株  
 会計処理の方法の変更 無  
 売上高、営業利益、経常利益、中間(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年中間期増減率

## (2)連結財政状態

	総資産		株主資本		株主資本比率		1株当たり株主資本	
	百万円		百万円		%		円 銭	
13年 9月中間期	9,949		7,208		72.5		623.64	
12年 9月中間期	10,408		7,346		70.6		635.54	
13年 3月期	10,229		7,287		71.2		630.45	

(注) 期末発行済株式数(連結) 13年 9月中間期 11,559,309 株 12年 9月中間期 11,559,309 株 13年 3月期 11,559,309 株

## (3)連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
13年 9月中間期	268		19		258		735	
12年 9月中間期	48		244		378		830	
13年 3月期	79		357		253		719	

## (4)連結範囲及び持分法の適用に関する事項

連結子会社数 1 社 持分法適用非連結子会社数 - 社 持分法適用関連会社数 - 社

## (5)連結範囲及び持分法の適用の異動状況

連結(新規) - 社 (除外) 1 社 持分法(新規) - 社 (除外) - 社

## 2. 14年 3月期の連結業績予想(平成 13年 4月 1日 ~ 平成 14年 3月 31日)

	売上高		経常利益		当期純利益	
	百万円		百万円		百万円	
通 期	4,793		257		2	

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 17 銭

(1) 企業集団の状況

当社の企業集団は、当社、子会社(株)味の花及び関連会社札幌北国商事(株)の3社で構成しています。

ラーメンを主に餃子その他の食材を「どさん子」等の商標のもとに展開するフランチャイズ・チェーン店(FC)に販売する他、一般消費者に対しての宅配便を利用した産地直送麺(美食王国)の販売、飲食店の直営及び不動産の賃貸を主な事業内容としております。

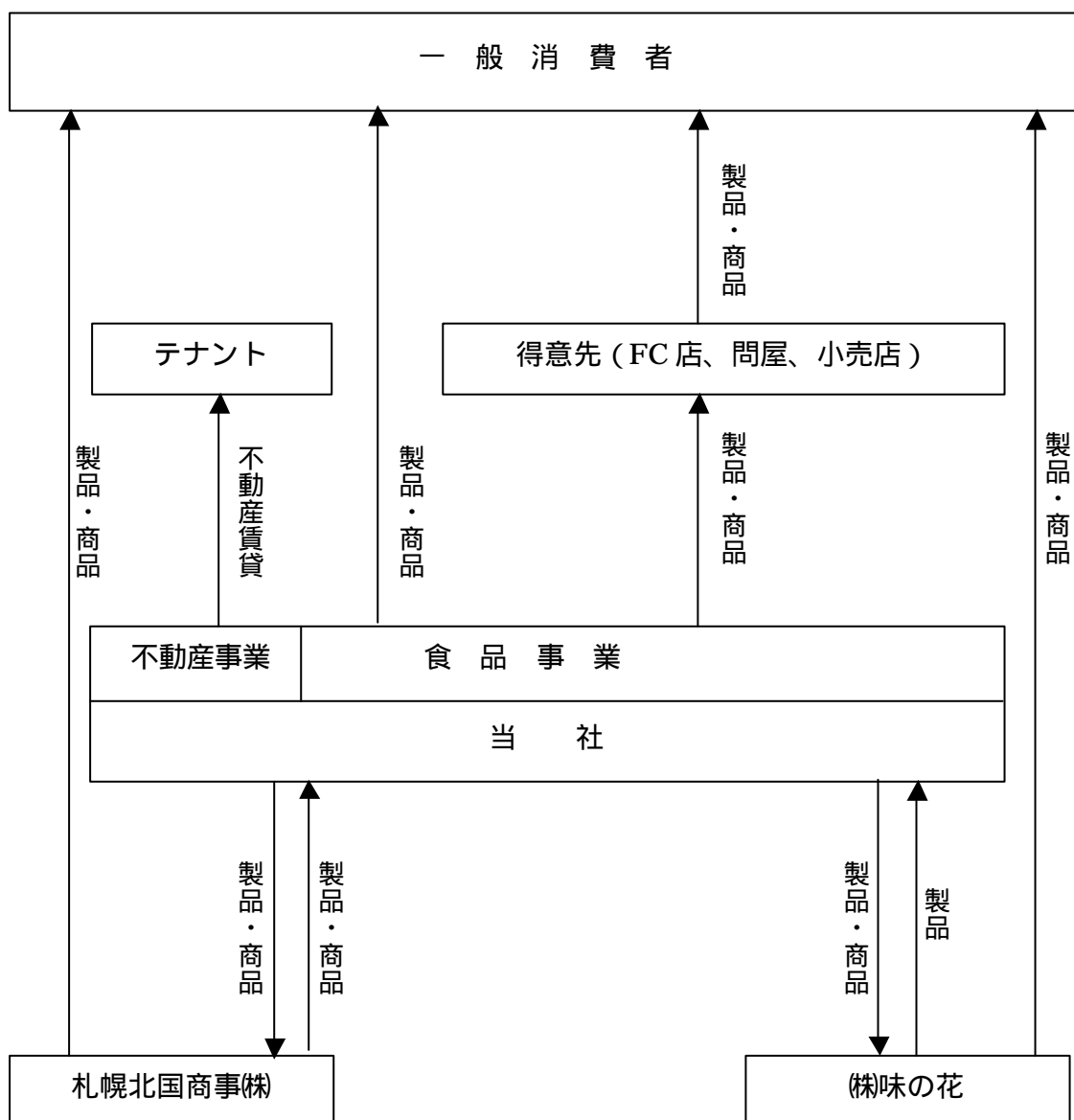
当社グループの事業にかかわる位置付け及び事業の種類別セグメントとの関連は、次のとおりであります。

1. 食品事業

FC部門、直営部門、直販部門

2. 不動産事業

事業の系統図は、以下のとおりであります。



## (2) 経営方針

当社創業以来の「食を通じて人々の暮らしのなかで、愛され、お役に立つ」という経営理念に基づき、基幹事業「どさん子」の安定的発展を図りつつ、食の分野において、直営ならびに FC 事業に新業態を確立して、安定的成長を続けて行くことを経営方針としております。

利益配分に関する基本方針については、健全な財務基盤を確立し、株主の皆様へ安定した配当を継続実施することを基本方針としております。そのために経営指標として ROE を重視しております。当連結中間期 ROE は残念ながらマイナスとなりましたが、この方針のもとに収益を重視した合理的、効率的経営に徹してまいります。

経営管理組織の整備等（コーポレートガバナンスの充実）に関する施策として、現在 3 名の監査役（内 1 名が常勤、2 名が社外監査役）が 3 ヶ月に 1 度監査役会を開き、定例役員打ち合わせ会、経営会議には常勤監査役も出席し適宜、意見を開陳しております。

外食業界の環境は競争激化により、ますます厳しくなるものと思われます。このような状況のもとで、当社グループが対処すべき課題としては、1.直営新業態の確立、2.組織の強化および直営人材の育成、3.新 FC 事業の展開による収益力の向上があげられます。

また、経営コスト削減、直営店の店舗運営の強化に注力し、新 FC 事業については、みそらーめん専門店「らーめんみそ膳」を「どさん子」FC 経営者のうちの希望者について転換を推進してまいります。

### (3) 経営成績

#### 1. 当期の概況

当中間連結会計期間のわが国経済は、低迷している景気が米国経済の失速を受けて企業の設備投資や輸出が減少し、株価の急落からさらに悪化しました。企業業績が軒並み悪化し、7月には失業率が過去最悪の5%を記録するなど一段と後退しているところに、米国同時多発テロが勃発、世界経済に甚大な影響を及ぼしました。

当社グループの関連する外食業界では、個人の消費意欲が冷え込み、外食費を抑える傾向が強まって、とりわけ厳しい環境となっています。このような状況のもとで、当社グループは収益向上を最重点に、前年度出店した直営店の店舗運営強化と不採算店の閉店を進めました。また基幹事業「どさん子」の強化をはかり、FC経営者のうちの希望者について新開発のみそらーめん専門店「らーめんみそ膳」への転換を行いました。これにより、売上高は微減でしたが、経常利益は増益となり幾分回復いたしました。しかし、特別損失として減損処理による投資有価証券評価損159百万円等を計上したため、残念ながら中間純損失を計上することとなりました。

以上の結果、売上高は2,335百万円(前期比96.4%)、経常利益は112百万円(前期比111.8%)、中間純損失は86百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

##### 食品事業

FC部門では既存加盟店の改装を推進し、FC経営者のうちの希望者について「らーめんみそ膳」への転換を行いました。FC経営者の高齢化等による閉店が前年度より減少したものの引き続きあり、FC部門の売上高は前期を下回りました。

直営部門は前年度の出店効果により不採算店閉店の売上減少をカバーし、直営部門の売上高は前期を上回りました。

直販部門については、新商品の提案を積極的に行い需要の掘り起こしをはかりましたが、個人消費低調の影響を受け主力の産地直送麺の出荷が落込み、直販部門の売上高は前期を下回りました。

以上の結果、当事業の売上高は2,189百万円(前期比96.6%)、営業利益は128百万円(前期比107.9%)となりました。

##### 不動産事業

賃貸オフィスの需要は低迷しており、前期中に空き室が発生したため、当事業の売上高は145百万円、(前期比93.2%)、営業利益は66百万円(前期比104.1%)となりました。

#### 2. 通期の見通し

今後の見通しにつきましては、景気は厳しい状況にあり日本経済の構造問題が要因となっているため、低迷は長引くと思われ、また米国同時多発テロの影響が懸念されます。消費マインドの冷え込みにより、外食業界の環境は一層厳しい状況が続くものと予想されます。このような状況を踏まえ、当社グループは基幹事業「どさん子」の安定的発展と新開発みそらーめん専門店「らーめんみそ膳」の確立に努め、収益を重視した合理的、効率的経営に徹してまいります。

これにより、売上高は4,793百万円(前期比98.8%)、経常利益は257百万円(前期比125.3%)、当期純利益は2百万円(前期比6.7%)を見込んでおります。

## (4) 中間連結財務諸表等

## 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当中間連結会計期間末 (平成13年9月30日現在)		前中間連結会計期間末 (平成12年9月30日現在)		前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成13年3月31日現在)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
(資産の部)		%		%		%
流動資産						
1.現金及び預金	1,091,978		1,196,171		1,075,179	
2.受取手形及び売掛金	204,098		227,508		251,903	
3.たな卸資産	105,397		133,437		116,783	
4.繰延税金資産	12,588		8,808		2,839	
5.その他	41,806		40,667		77,909	
貸倒引当金	3,844		3,666		3,800	
流動資産合計	1,452,024	14.6	1,602,927	15.4	1,520,813	14.9
固定資産						
1.有形固定資産						
(1)建物及び構築物	1,474,682		1,516,270		1,557,213	
(2)機械装置及び運搬具	89,767		118,658		101,047	
(3)工具器具備品	96,377		95,649		108,324	
(4)土地	5,523,399		5,523,399		5,523,399	
(5)建設仮勘定	3,000		43,720		-	
有形固定資産合計	7,187,226	72.2	7,297,697	70.1	7,289,984	71.3
2.無形固定資産	56,054	0.6	55,484	0.5	55,881	0.5
3.投資その他の資産						
(1)投資有価証券	168,394		295,332		237,102	
(2)出資金	7,637		20,362		14,716	
(3)長期貸付金	151,807		155,546		151,002	
(4)差入保証金	656,701		692,663		664,204	
(5)長期前払費用	22,028		19,109		23,113	
(6)繰延税金資産	127,523		108,864		140,253	
(7)その他	173,870		222,687		219,926	
貸倒引当金	54,000		61,800		87,250	
投資その他の資産合計	1,253,962	12.6	1,452,766	14.0	1,363,068	13.3
固定資産合計	8,497,243	85.4	8,805,948	84.6	8,708,934	85.1
資産合計	9,949,268	100.0	10,408,875	100.0	10,229,743	100.0

## (注記事項)

	当中間連結会計期間末	前中間連結会計期間末	前連結会計年度
1.有形固定資産の減価償却累計額	2,810,317千円	2,695,598千円	2,755,417千円
2.担保提供資産			
担保に供している資産			
建物	306,998千円	326,319千円	322,138千円
土地	1,633,453	1,633,453	1,633,453
計	1,940,452	1,959,773	1,955,592
対応する債務			
短期借入金	747,000千円	1,046,474千円	773,626千円
長期借入金	530,004	489,736	676,374
保証債務	32,674	36,742	34,708
計	1,309,678	1,572,952	1,484,708

(単位：千円)

期 別 科 目	当中間連結会計期間末 (平成13年9月30日現在)		前中間連結会計期間末 (平成12年9月30日現在)		前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成13年3月31日現在)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
(負債の部)		%		%		%
流動負債						
1. 支払手形及び買掛金	191,604		203,574		200,942	
2. 短期借入金	1,050,000		1,396,000		1,098,000	
3. 1年内返済予定の 長期借入金	252,504		256,474		294,974	
4. 未払金	131,414		128,791		143,171	
5. 未払費用	60,156		90,321		55,757	
6. 未払法人税等	65,046		31,521		5,532	
7. その他	72,631		52,666		85,280	
流動負債合計	1,823,357	18.3	2,159,349	20.7	1,883,657	18.4
固定負債						
1. 長期借入金	560,232		489,736		676,374	
2. 退職給付引当金	27,260		10,135		25,202	
3. 役員退職慰労引当金	118,448		125,676		129,562	
4. 預り保証金	211,129		277,591		227,404	
固定負債合計	917,070	9.2	903,139	8.7	1,058,543	10.4
負債合計	2,740,427	27.5	3,062,488	29.4	2,942,201	28.8
(資本の部)						
資本金	1,432,000	14.4	1,432,000	13.8	1,432,000	14.0
資本準備金	1,292,000	13.0	1,292,000	12.4	1,292,000	12.6
連結剰余金	4,485,117	45.1	4,649,086	44.7	4,623,584	45.2
その他有価証券評価差額金	-	-	26,423	0.3	59,761	0.6
	7,209,117	72.5	7,346,663	70.6	7,287,823	71.2
自己株式	276	0.0	276	0.0	276	0.0
資本合計	7,208,840	72.5	7,346,386	70.6	7,287,546	71.2
負債・資本合計	9,949,268	100.0	10,408,875	100.0	10,229,748	100.0

(注記事項)

当中間連結会計期間末

前中間連結会計期間末

前連結会計年度

1. 保証債務

32,674千円

36,742千円

34,708千円

中間連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	当中間連結会計期間末		前中間連結会計期間末		前連結会計年度の 要約連結損益計算書	
	〔自平成13年4月 1日〕 〔至平成13年9月30日〕		〔自平成12年4月 1日〕 〔至平成12年9月30日〕		〔自平成12年4月 1日〕 〔至平成13年3月31日〕	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比
		%		%		%
売 上 高	2,335,069	100.0	2,422,175	100.0	4,852,328	100.0
売 上 原 価	1,062,870	45.5	1,144,843	47.3	2,284,752	47.1
売 上 総 利 益	1,272,198	54.5	1,277,331	52.7	2,567,575	52.9
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費						
1. 貸 倒 引 当 金 繰 入 額	5,793		17,376		-	
2. 給 料 手 当	472,096		470,181		955,888	
3. 退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額	7,196		2,638		13,323	
4. 役 員 退 職 慰 勞 引 当 金 繰 入 額	3,359		3,887		7,772	
5. 地 代 家 賃	177,721		164,047		335,850	
6. そ の 他	493,861		524,308		1,063,627	
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 合 計	1,160,028	49.7	1,182,439	48.8	2,376,462	49.0
営 業 利 益	112,170	4.8	94,892	3.9	191,113	3.9
営 業 外 収 益						
1. 受 取 利 息	2,217		2,581		6,210	
2. 受 取 配 当 金	958		946		2,190	
3. 投 資 有 価 証 券 売 却 益	1,310		9,286		9,290	
4. 解 約 違 約 金 収 入	3,391		-		10,000	
5. そ の 他	13,860		14,842		25,663	
営 業 外 収 益 合 計	21,738	0.9	27,657	1.2	53,354	1.1
営 業 外 費 用						
1. 支 払 利 息	17,864		14,080		29,961	
2. 出 資 金 運 用 損 失	-		4,231		-	
3. 株 式 管 理 費 用	2,865		2,653		5,450	
4. そ の 他	423		699		3,936	
営 業 外 費 用 合 計	21,153	0.9	21,664	0.9	39,348	0.8
経 常 利 益	112,754	4.8	100,886	4.2	205,119	4.2
特 別 利 益						
1. 収 用 補 償 金 受 入 額	-		2,147		2,147	
2. 固 定 資 産 売 却 益	844		-		-	
特 別 利 益 合 計	844	0.0	2,147	0.1	2,147	0.1
特 別 損 失						
1. 固 定 資 産 除 却 売 却 損	12,361		38,876		59,981	
2. 退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額	-		7,805		15,592	
3. ゴ ル フ 会 員 権 評 価 損	-		29,100		29,100	
4. 子 会 社 清 算 損 失	-		-		27,650	
5. 投 資 有 価 証 券 評 価 損	159,474		-		-	
6. そ の 他	4,042		971		6,555	
特 別 損 失 合 計	175,879	7.5	76,752	3.2	138,879	2.9
税金等調整前中間(当期)純利益(損失)	62,280	2.7	26,280	1.1	68,387	1.4
法人税、住民税及び事業税	64,190		30,603		47,721	
法人税等調整額	39,939		7,509		9,036	
小 計	24,250	1.0	23,094	1.0	38,685	0.8
中間(当期)純利益(損失)	86,531	3.7	3,186	0.1	29,701	0.6

(注記事項)	当中間連結会計期間末	前中間連結会計期間末	前連結会計年度
1. 固定資産売却益の内訳 建物及び構築物	844千円	-	-
2. 固定資産除却売却損の内訳			
建物及び構築物	8,611千円	27,782千円	36,860千円
機械装置及び運搬具	1,984	1,527	9,737
工具器具備品	1,599	1,829	4,865
その他	166	7,737	8,517
	<u>計 12,361</u>	<u>計 38,876</u>	<u>計 59,981</u>

3. 特別損失に計上しております「投資有価証券評価損」は、時価の下落により減損処理を行ったものであります。



中間連結剰余金計算書

(単位：千円)

科 目	期 別	当中間連結会計期間末	前中間連結会計期間末	前連結会計年度の 要約連結剰余金計算書
		〔自平成13年4月 1日〕 〔至平成13年9月30日〕	〔自平成12年4月 1日〕 〔至平成12年9月30日〕	〔自平成12年4月 1日〕 〔至平成13年3月31日〕
		金 額	金 額	金 額
連結剰余金期首残高		4,623,584	4,715,920	4,715,920
連結剰余金増加高				
1. 連結除外に伴う連結剰余金増加高		80	-	-
		80	-	-
連結剰余金減少高				
1. 配 当 金		52,016	52,020	104,036
2. 役 員 賞 与		-	18,000	18,000
計		52,016	70,020	122,036
中間(当期)純利益(損失)		86,531	3,186	29,701
V 連結剰余金中間期末(期末)残高		4,485,117	4,649,086	4,623,584

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	期 別	当中間連結会計期間末	前中間連結会計期間末	前連結会計年度の要約連結 キャッシュ・フロー計算書
		〔平成13年4月 1日〕 〔平成13年9月30日〕	〔平成12年4月 1日〕 〔平成12年9月30日〕	〔平成12年4月 1日〕 〔平成13年3月31日〕
		金 額	金 額	金 額
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>				
税金等調整前(当期)純利益(損失)		62,280	26,280	68,387
減価償却費		105,206	101,879	224,251
固定資産除却売却損益		11,517	38,876	59,981
投資有価証券評価損益		159,474	-	-
投資有価証券売却損益		1,310	9,286	9,290
収用補償金受入額		-	-	2,147
その他特別損失		4,042	-	51,248
貸倒引当金の増減額		6,856	17,376	43,772
退職給付引当金の増減額		2,057	-	6,478
役員退職慰労引当金の増減額		11,113	-	7,772
受取利息配当金		3,176	3,528	8,400
支払利息		17,864	14,080	29,961
売上債権の増減額		44,362	34,680	10,286
棚卸資産の増減額		11,385	10,046	26,074
その他流動資産の増減額		35,228	-	3,447
その他固定資産の増減額		16,518	-	94,560
差入保証金の増減額		6,497	105,707	-
仕入債務の増減額		16,396	23,410	2,486
未払金の増減額		3,520	-	22,566
その他流動負債の増減額		7,774	-	32,606
預り保証金の増減額		16,274	-	50,684
その他		320	12,109	15,666
小計		285,851	113,396	331,490
利息配当金の受取額		3,831	4,005	8,357
利息の支払額		16,301	14,832	33,390
収用に伴う補償金等収入額		-	2,147	2,147
法人税等の支払額		4,496	152,939	229,452
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		<b>268,885</b>	<b>48,222</b>	<b>79,152</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>				
定期預金預入による支出		356,000	305,000	316,000
定期預金払戻による収入		356,000	305,000	326,000
資金の貸付による支出		3,310	1,583	2,483
資金の回収による収入		23,085	7,807	15,692
固定資産の取得による支出		16,940	269,947	404,896
固定資産の売却による収入		420	190	1,814
投資有価証券の取得による支出		-	372,130	372,130
投資有価証券の売却による収入		12,917	380,388	381,390
その他		3,664	10,857	12,826
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		<b>19,837</b>	<b>244,417</b>	<b>357,785</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>				
短期借入金の純増減額		48,000	134,000	164,000
長期借入による収入		-	400,000	770,000
長期借入金の返済による支出		158,612	103,362	248,224
配当金の支払額		52,070	51,799	103,936
その他		-	276	276
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		<b>258,682</b>	<b>378,562</b>	<b>253,562</b>
現金及び現金同等物の増減額		30,039	85,921	25,070
現金及び現金同等物の期首残高		719,179	744,249	744,249
連結除外に伴う現金及び現金同等物の増減額		13,240	-	-
現金及び現金同等物の期末残高		<b>735,978</b>	<b>830,171</b>	<b>719,179</b>

## 中間連結財務諸表作成の基本となる重要事項

### 1. 連結の範囲に関する事項

当中間連結財務諸表は、株式会社味の花を連結子会社として作成しております。

アイ食品株式会社は、当中間連結会計期間において、清算終了いたしましたので、連結の範囲から除外しております。

非連結子会社はありません。

### 2. 持分法の適用に関する事項

関連会社である札幌北国商事株式会社については、連結純損益及び連結剰余金に及ぼす影響が軽微であるため、持分法を適用しておりません。

連結子会社の決算日は、当社の（中間）決算日と同一であります。

### 3. 連結子会社の（中間）決算日に関する事項

### 4. 会計処理基準に関する事項

有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

時価のあるもの

…中間決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部資本直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。）

時価のないもの

…移動平均法による原価法

当社は、総平均法による原価法を適用しており、連結子会社は先入先出法による原価法を適用しております。

たな卸資産の評価基準及び  
評価方法  
固定資産の減価償却の方法  
有形固定資産

平成10年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く）  
定額法

上記以外のもの

定率法

なお、主な耐用年数は次の通りであります。

建物及び構築物 3～65年

機械及び装置 5～16年

工具器具備品 2～20年

無形固定資産

定額法

なお、主な耐用年数は自社利用ソフトウェア5年であります。

引当金の計上基準  
貸倒引当金

金銭債権の貸倒れに備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当連結会計年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当中間連結会計期間末において発生していると認められる額を計上しております。

役員退職慰労引当金

当社は役員の退職慰労金支給に備えるため、内規に基づく中間期末要支給額を計上しております。

リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

## ヘッジ会計の方法

### 消費税等の会計処理

#### 5. 中間連結キャッシュ・フロー計算書 における資金の範囲

## ヘッジ会計の方法

…支払金利に係るスワップ取引及びキャップ取引の特例処理を適用しております。

### ヘッジ手段とヘッジ対象

…借入金利息をヘッジ対象とする金利スワップ取引及び金利キャップ取引であります。

### ヘッジ方針

…取締役会の決議に基づき、金利変動リスクをヘッジします。

税抜方式を採用しております。

キャッシュ・フロー計算書における資金（現金及び現金同等物）は、手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3ヵ月以内に償還期限の到来する短期投資であります。

## (中間連結キャッシュ・フロー計算書関係)

(単位：千円)

当中間連結会計期間 (平成13年9月30日現在)	前中間連結会計期間 (平成12年9月30日現在)	前連結会計年度 (平成13年3月31日現在)
現金及び現金同等物の中間期末残高と 中間連結貸借対照表に記載されている 科目の金額との関係	現金及び現金同等物の中間期末残高と 中間連結貸借対照表に記載されている 科目の金額との関係	現金及び現金同等物の期末残高と連結 貸借対照表に記載されている科目の金 額との関係
現金及び預金勘定 1,091,978	現金及び預金勘定 1,196,171	現金及び預金勘定 1,075,179
預入期間が3ヶ月を超 える定期預金 356,000	預入期間が3ヶ月を超 える定期預金 366,000	預入期間が3ヶ月を超 える定期預金 356,000
<u>735,978</u>	<u>830,171</u>	<u>719,179</u>

(リース取引関係)

所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース物件の取得価額相当額、  
減価償却累計額相当額及び  
(中間)期末残高相当額

当中間連結会計期間  
〔自平成13年4月1日〕  
〔至平成13年9月30日〕

前中間連結会計期間 前連結会計年度  
〔自平成12年4月1日〕〔自平成12年4月1日〕  
〔至平成12年9月30日〕〔至平成13年3月31日〕

	機械装置及び 運搬具	工具器具備品	合計		
取得価額相当額	23,200千円	70,212千円	93,412千円	99,524千円	93,412千円
減価償却累計額相当額	22,022千円	47,766千円	69,788千円	54,284千円	61,060千円
(中間)期末残高相当額	1,177千円	22,445千円	23,623千円	45,239千円	32,351千円
未経過リース料(中間)					
期末残高相当額	1年以内		14,172千円	19,453千円	17,936千円
	1年超		10,813千円	28,373千円	16,395千円
	合計		24,985千円	47,826千円	34,331千円
支払リース料、減価償却費相当 額及び支払利息相当額					
支払リース料			9,879千円	10,480千円	20,961千円
減価償却費相当額			8,728千円	9,237千円	18,474千円
支払利息相当額			533千円	1,089千円	1,958千円

減価償却費相当額及び利息相当  
額の算定方法

減価償却費相当額の算定方法

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

利息相当額の算定方法

リース料総額とリース物件の取得価額相当額との差額を利息相当額とし、  
各期への配分方法については、利息法によっております。

(セグメント情報)

1. 事業の種類別セグメント情報

当中間連結会計期間(自平成13年4月1日 至平成13年9月30日)

	食品事業	不動産事業	計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,189,807	145,261	2,335,069	-	2,335,069
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	(-)	-
計	2,189,807	145,261	2,335,069	(-)	2,335,069
営業費用	2,061,485	79,112	2,140,598	82,300	2,222,899
営業利益	128,321	66,149	194,470	(82,300)	112,170

前中間連結会計期間(自平成12年4月1日 至平成12年9月30日)

	食品事業	不動産事業	計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,266,241	155,933	2,422,175	-	2,422,175
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	228	228	(228)	-
計	2,266,241	156,161	2,422,403	(228)	2,422,175
営業費用	2,147,343	92,588	2,239,932	87,349	2,327,282
営業利益	118,897	63,573	182,471	(87,578)	94,892

前連結会計年度(自平成12年4月1日 至平成13年3月31日)

(単位:千円)

	食品事業	不動産事業	計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	4,542,704	309,623	4,852,328	-	4,852,328
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	457	457	(457)	-
計	4,542,704	310,081	4,852,785	(457)	4,852,328
営業費用	4,303,543	177,419	4,480,963	180,251	4,661,214
営業利益	239,161	132,662	371,822	(180,708)	191,113

(注記事項)

- 食品事業は、フランチャイズ・チェーン本部として傘下のフランチャイズ店に対する食材の供給売上、産地直送形態により一般顧客に食品を販売する直販売上及び中華麺・餃子他中華料理を主なメニューとした飲食店、みそラーメン専門店、居酒屋店、持ち帰りの寿司・弁当・餃子の販売店等の直営店売上が主たる事業であります。
- 不動産事業は、当社所有の不動産の賃貸料収入であります。
- 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の主なものは、当社の管理本部に係わる費用であります。

当中間連結会計期間 82,300 千円

前中間連結会計期間 87,349 千円

前連結会計年度 180,251 千円

2. 所在地別セグメント情報

当中間連結会計期間、前中間連結会計期間及び前連結会計年度において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び支店等がないため、該当事項はありません。

3. 海外売上高

当中間連結会計期間、前中間連結会計期間及び前連結会計年度において、該当事項はありません。

(有価証券)

(当中間連結会計期間)(平成13年9月30日現在)

1. 満期保有目的の債券で時価のあるもの

該当事項はありません。

2. その他有価証券で時価のあるもの

(単位:千円)

	取得原価	中間連結貸借 対照表計上額	差 額
(1)株 式	101,151	101,151	-
(2)そ の 他	38,631	38,631	-
合 計	139,782	139,782	-

3. 時価のない有価証券

(単位:千円)

	中間連結貸借 対照表計上額	摘 要
(1) その他有価証券 非上場株式(店頭売買株式を除く) 非公募債券	28,500 111	
合 計	28,611	

(注) 当中間連結会計期間において、その他有価証券で時価のある株式について159,474千円減損処理を行っております。

(前中間連結会計期間)(平成12年9月30日現在)

1. 満期保有目的の債券で時価のあるもの

該当事項はありません。

2. その他有価証券で時価のあるもの

(単位:千円)

	取得原価	中間連結貸借 対照表計上額	差 額
(1)株 式	228,765	196,771	31,994
(2)そ の 他	83,406	69,949	13,456
合 計	312,171	266,720	45,450

3. 時価のない有価証券

(単位:千円)

	中間連結貸借 対照表計上額	摘 要
(1) その他有価証券 非上場株式(店頭売買株式を除く) 非公募債券	28,500 111	
合 計	28,611	

(前連結会計年度)(平成13年3月31日現在)

1. 満期保有目的の債券で時価のあるもの

該当事項はありません。

2. その他有価証券で時価のあるもの

(単位:千円)

	取得原価	連結貸借対照表 計 上 額	差 額
(1)株 式	228,765	154,991	73,774
(2)そ の 他	82,407	53,498	28,908
合 計	311,173	208,490	102,682

3. 時価のない有価証券

(単位:千円)

	連結貸借対照表 計 上 額	摘 要
(1) その他有価証券 非上場株式(店頭売買株式を除く) 非公募債券	28,500 111	
合 計	28,611	



(デリバティブ取引関係)

当中間連結会計期間(自平成13年4月1日至平成13年9月30日)

金利スワップ取引及び金利キャップ取引につきヘッジ会計(特例処理)を適用しており、該当事項はありません。

前中間連結会計年度(自平成12年4月1日至平成12年9月30日)

金利キャップ取引につきヘッジ会計(特例処理)を適用しており、該当事項はありません。

前連結会計年度(自平成12年4月1日至平成13年3月31日)

金利スワップ取引及び金利キャップ取引につきヘッジ会計(特例処理)を適用しており、該当事項はありません。

## (5) 生産・受注及び販売の状況

## 生産実績

(単位：千円)

科目	期別	当中間連結会計期間末 〔自平成13年4月1日〕 〔至平成13年9月30日〕		前中間連結会計期間末 〔自平成12年4月1日〕 〔至平成12年9月30日〕		前連結会計年度 〔自平成12年4月1日〕 〔至平成13年3月31日〕	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額
生 麵(42食/枚)		120,386	114,009	133,274	129,088	260,036	252,982
冷 凍 麵		-	3,373	-	3,174	-	5,992
餃 子(個)		5,496,090	42,227	6,782,250	54,570	13,021,350	104,688
調 味 料		-	22,841	-	24,906	-	40,567
そ の 他		-	80,811	-	150,606	-	300,771
合 計		-	263,263	-	362,347	-	705,001

(注記事項)

1. 「調味料」には、味噌、醤油、冷し味噌及び冷し醤油のみを表示しております。  
その他の調味料は、「その他」に含めて表示しております。
2. 数量は、荷姿が多岐にわたる製品については、表示困難のため記載を省略しております。  
したがって、数量の前期との比較も省略しております。
3. 金額は、製造原価で表示しております。

## 受注の状況

当社は、全製品見込み生産を行なっておりますので該当事項はありません。

## 販売実績

(単位：千円)

科目	期別	当中間連結会計期間末 〔自平成13年4月1日〕 〔至平成13年9月30日〕		前中間連結会計期間末 〔自平成12年4月1日〕 〔至平成12年9月30日〕		前連結会計年度 〔自平成12年4月1日〕 〔至平成13年3月31日〕	
		数量	金額	数量	金額	数量	金額
製 品	生 麵(枚)	117,111	265,256	132,513	300,141	251,670	570,032
	冷 凍 麵	-	3,892	-	3,995	-	7,346
	餃 子(個)	5,513,220	90,539	6,479,640	89,055	12,299,220	168,647
	調 味 料	-	77,867	-	78,918	-	155,293
	そ の 他	-	69,281	-	109,035	-	222,841
	小 計	-	506,836	-	581,147	-	1,124,161
商 品	美食王国	-	46,441	-	49,837	-	131,375
	味付メンマ(c/s)	10,314	37,295	9,904	35,812	22,802	82,452
	ドライワカメ(袋)	12,753	14,028	15,104	16,614	27,822	30,604
	清湯スープ(c/s)	1,671	19,650	1,925	22,638	3,735	43,923
	スイートコーン(c/s)	8,297	24,094	8,532	26,278	18,020	52,330
	食 用 油	-	9,949	-	11,346	-	27,487
	そ の 他	-	325,657	-	361,850	-	674,007
	小 計	-	477,118	-	524,377	-	1,042,180
加盟金収入他計	-	6,958	-	10,743	-	14,989	
直 営 店 売 上 計	-	1,198,895	-	1,149,972	-	2,361,373	
食 品 事 業 計	-	2,189,807	-	2,266,241	-	4,542,704	
不 動 産 賃 貸 収 入	-	145,261	-	155,933	-	309,623	
不 動 産 事 業 計	-	145,261	-	155,933	-	309,623	
合 計	-	2,335,069	-	2,422,175	-	4,852,328	

(注記事項)

1. 販売数量は、荷姿が多岐にわたる製品・商品については、表示困難のため記載を省略しております。
2. 「調味料」には、味噌、醤油、冷し味噌及び冷し醤油のみを表示しております。  
その他の調味料は、「その他」に含めて表示しております。